

Paris Report

May 2019

CONTENTS

* Project 1: Galeries Lafayette Champs Elysées

1. Galeries Lafayette Champs Elysées

Project Overview

2019年3月末、シャンゼリゼ大通りにパリの老舗百貨店 Galeries Lafayette が手掛けるコンセプトストアが誕生した。場所は 60 番地、この大通りで一番大きな売り場を誇る店舗。2013 年の Virgin Megastore 閉店後長年閉鎖していたが、遂に最先端な装いで蘇った。店舗デザインを担当したのはコペンハーゲンとニューヨークを拠点に活躍する建築界の若き革命児 Bjarke Ingels 氏が率いる建築事務所 BIG(Bjarke Ingels Group)。Google 新本社や Lego House など幅広いプロジェクトを手掛ける BIG が初めて小売店を設計するとあって注目を集めた。大通りから店内へは光のトンネルを通してアトリウムに導かれる。この仕掛けは日常から別世界にワープするようなワクワク感をもたらし、アトリウムに着くと重厚なアール・デコ装飾と BIG の近未来的デザインが折衷した唯一無二の内装に高揚感は一層に高まる。総面積 6,500 m² の店内は、1 階がイベントスペースとコスメ、2 階が新規&カジュアルブランド、3 階がデザイナー&ラグジュアリーブランド、地下 1 階がイートイン可能な食品売り場となっている。アート作品のような什器もすべて BIG が考案。パリのグラフィックデザイン事務所 M/M が店内サインやロゴを担当。店内では Galeries Lafayette シャンゼリゼのためにデザインされたタイポグラフィが使用され、ブランドロゴの表示は一切ない。アトリウムと 3 階から張り出すディスプレイ用ガラスボックスでは定期的に変わるイベントが開催され、シャネルがオープニングを飾った。主なターゲットは裕福な観光客と近隣の大手企業で働くインターナショナルな富裕層。特に前者なくしてパリの経済は成り立たない。昨年 11 月から続く黄色いベスト運動で大打撃を受けたシャンゼリゼ大通りだが、3 月末からここでのデモ活動は禁止された。奇しくも Galeries Lafayette シャンゼリゼのオープンと同じタイミングである。7/7、深夜 12 時まで営業(日曜日のみ 21 時まで)、1 日 10,000 から 15,000 人の集客を見込んでいる。これを機に通常平均 1 日 30 万人が行き交う世界一有名な大通りに観光客が戻ってくることを期待する。

Project Details

1. Brand: Galeries Lafayette
2. Type of Business: Departement store
3. Open Date: 03/2019
4. Location: 60 Av des Champs-Elysées, 75008 Paris France
5. Size: 6500m²
6. Architect: BIG, Bjarke Ingels

Location Map





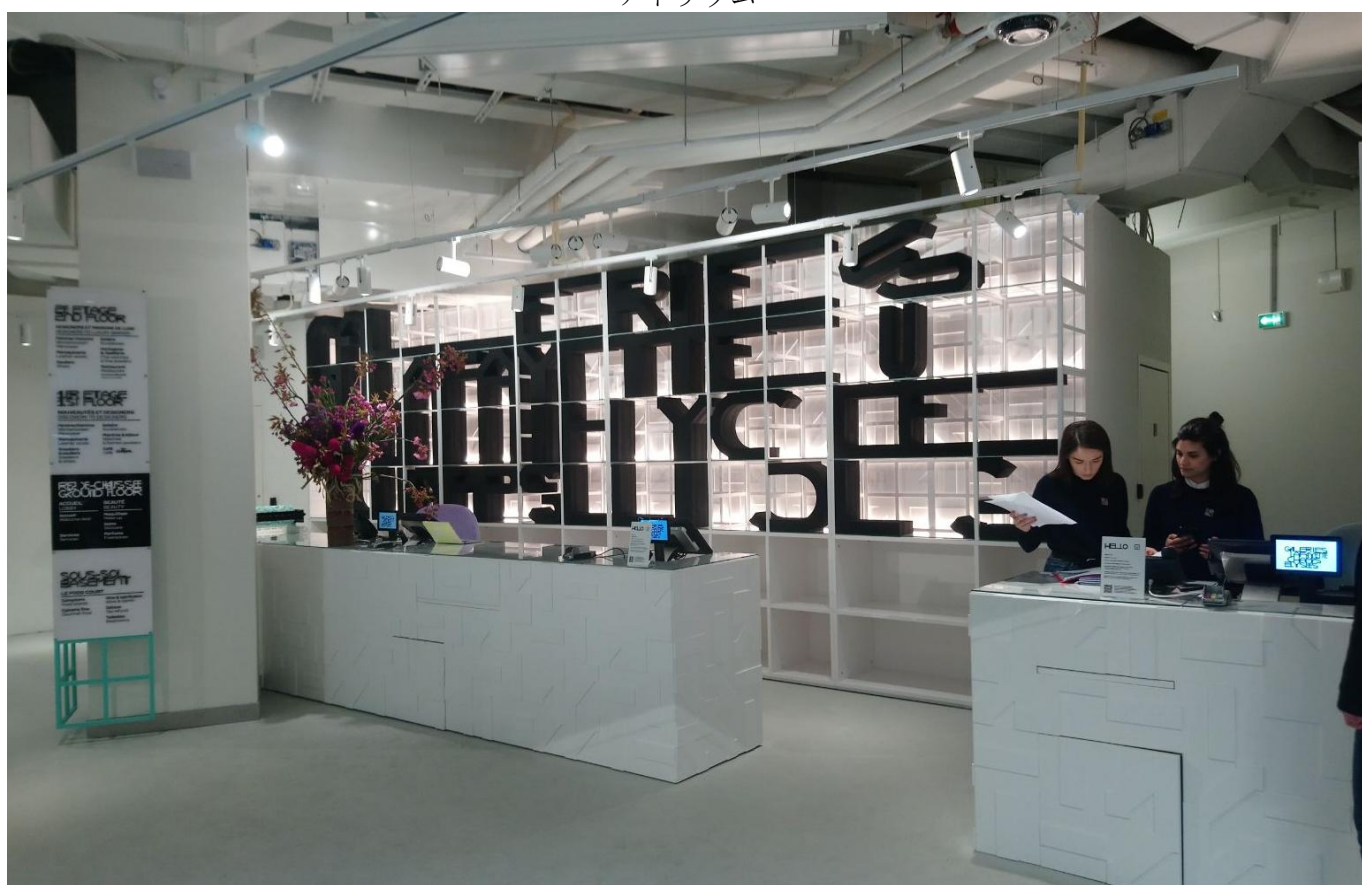
ファサード



光のトンネル



アトリウム



インフォメーションカウンター



地下1階へのエスカレーター



地下1階食品売り場



1 階コスメ売り場



2 階スニーカー売り場



3階ファッション小物売り場



3階シューズ売り場



試着スペース



張り出しディスプレイボックス